

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 田中務  
編集 調査研究部

## 世界に羽ばたく人間を育てよう



副会長

大塚安彦



— 幕末の松山を救え！ —  
「ふるさと松山」挿絵より

「世界に羽ばたく人間になれ」。この言葉を私は何十年も生徒に訴えかけてきました。世界中の深刻な貧困、飢餓の蔓延、清潔な水の不足等で、貧しい国では毎年何百万人もの子供たちが病に倒れていると聞きます。その子供たちに目を向け、いかに救うかについて考えてほしいのです。彼らを救うために医薬品の支給が最優先されるのが当然だと考えますが、そうやってはいません。ほんの1ドル以下で彼らを救う手段はたくさんあるのに、子供たちはなぜ、死ななければならないのでしょうか。子供たちの両親は救いたくても救えないのです。けれども、我々はこの子供たちを救えるのです。こういう問題に目を向けることが、世界に羽ばたく人間になる第一歩になります。そのために重要なことは、「高い志と勇気」を持ち、以下の二つのことに取り組む生徒を育てたいと思っています。

まず、「分からないことは、分からない」と言える人間を育てることです。ある中学校を卒業したA君が大きくなり、ある工場に就職しました。就職初日、他の大勢の人と一緒に機械操作を教わりました。それが終わった後、工場長に「分かったか」と言われました。他の人たちは、すぐ「分かりました」と言いました。ところが、A君は「まだよく分からないからもう一度説明してください」と言いました。すると、工場長は「ばかだな」と言いましたが、もう一度説明してくれました。その後、機械操作をしてみると、他の人は、皆分からないで困っているのに、Aさんだけはできたのです。なぜ、A君は機械操作ができたのでしょうか。A君は、授業で分からないことを分かるまで問い返し、分かるまで追究するという中学校の経験があったからです。

次に、「郷土の歴史や文化を語れる人間」を育てることです。ところで、我が松山市が生んだ俳人正岡子規の句に「われ愛す わが豫州 松山の鮓」があります。子規にとって、ふるさとの味といえるのが、母八重の作る「松山鮓」であり、郷里を思い起こさせてくれる料理でした。「我々教師は、子供たちにグローバルな視点で教育をしていかねばならない」と強く感じているところですが、「国や郷土を愛する気持ち」が今の日本人に少し欠けているのではないのでしょうか。先祖の伝統や歴史を大事にしながら、人間力のある正岡子規のように、郷土を愛する気持ちを持ち続け、語ってほしいと思います。

海外から日本を眺めると、日本人そのものの豊かな人間性（思いやりの心）が際だって素晴らしいことを実感します。もっと日本人は日本の素晴らしさを世界にアピールしていく必要性を強く感じているこの頃です。

# 平成24年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

## 1 会員構成

	平成24年度	平成23年度	増減	備考	
正会員	現職	2,211名	2,250名	△39名	会費納入者数
	O B	1,078名	1,118名	△40名	
特別会員(OB)	14名	19名	△5名		
準会員	4名	4名	0名	元会員家族	
賛助会員(PTA等)	23名	21名	2名		
合計	3,330名	3,412名	△82名		

## 2 役員 (任期2年の1年目)

会長	田中 務	副会長	其田建一郎
副会長	久坂 文治	監事	垂水 葉子
副会長	友澤 大身	監事	沖 幸治
副会長	菅野 拓也		

※理事・専門部員は省略

## 3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	24	会計監査	監査
4	24	役員会(会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	10	第1回 理事会・専門部会	総会資料の審議
5	15	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	19	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出(全議案原案通り可決)
5	19	会費集金開始	納入期限 7月5日
6	7	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	6	第1回 支部長会	専門部の活動計画・まつやま教育フォーラムの概要
7	22	囲碁大会	上級・中級・初級の級別を実施
8	16	教育講座①	情報教育(忽那 浩 先生)
8	24	教育講座②	キャリア教育(土居 浩 先生)
8	23	日連教員大会	～8月24日(呉市文化ホール)
8	30	教育研修会	「あかるく すなおに ひたむきに」(大野加寿子氏)
9	3	支部活動費支給	～9月11日
9	3	高齢者慶祝記念品配布	～9月17日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	7	第3回 理事会・専門部会	支部長会・まつやま教育フォーラム等運営審議
9	11	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件・ブロック活動計画
9	18	教育功労者推薦	推薦募集の文書配布(締め切り12月14日)
10	20	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に20名の参加要請
11	1	えひめ教育の日推進大会	「燃え尽きないためのレッスン」(石隈 利紀氏)
11	3	まつやま教育フォーラム 24	「坂村真民の人生と詩の魅力について」(西澤 孝一氏)
11	9	福利厚生部会	囲碁大会等福利厚生事業の今後の方向審議
1	18	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
1	18	対策部会	人材バンク事業の見直しと今後の対応審議
2	8	第4回 理事会	教育功労者の推薦審議・本年度の反省
2	21	第3回 支部長会	教育功労者の推薦・本年度の反省

## 4 主要行事及び専門部活動

- (1) 「まつやま教育フォーラム 24」  
 11月3日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事  
 ア 開会式 報賞者(15名)  
 イ 講演会 演題「坂村真民の人生と詩の魅力について」  
 講師 坂村真民記念館館長 西澤 孝一 氏  
 ウ 懇親会 参加者45名  
 (内、高齢慶祝者 4名 出席)
- (2) 調査研究部  
 ア 教育講座  
 ①「情報教育講座」  
 8月16日(木曜日)50名 出席  
 講師 県総合教育センター 忽那 浩 先生  
 ②「キャリア教育講座」  
 8月24日(金曜日)40名 出席  
 講師 県総合教育センター 土居 浩 先生
- イ 会報「松山市教育会情報」  
 77号(6月1日発行)  
 78号(10月1日発行)  
 79号(2月1日発行)  
 ウ 「文教月報」執筆協力  
 (3) 福利厚生部  
 ア 囲碁大会・・・7月22日(日曜日)  
 (ア) 参加者 15名  
 (イ) 成績 優勝 準優勝  
 (上級) 真部 明雄 氏 高須賀嘉夫 氏  
 (中級) 馬嶋 治男 氏 平松 清一 氏  
 (初級) 長岡 芳朗 氏 門屋 睦夫 氏  
 イ 文化講座  
 (ア) 俳句交換会 毎月 13名  
 講師 上原 勲 先生  
 講師 近藤 良郷 先生  
 (イ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後)17名  
 講師 藤本ヨガ学院の先生

(ウ) 大正琴講座 今年度1回目の会で中止を決定

(エ) 川柳教室 月1回(第3水曜日)15名

講師 関谷 省三 先生

ウ 慶弔関係

(ア) 高齢慶祝者

傘寿(本度中に満80歳を迎えられた方)

46名

白寿(本度中に満99歳を迎えられた方)

3名

(イ) 教育功労者(平成23年度分)

総会にて表彰

県表彰 大野 順廣 氏(潮見)

市表彰 雲井美智子 氏(桑原)

井上 篤 氏(姫山)

(ウ) 報賞者

(本会役員在任4年以上の退任者)

フォーラム(報賞式)にて表彰

OB会員 11名

現職会員 4名

(エ) 現職表彰祝金該当者

文部科学大臣教育者表彰 1名

文部科学大臣優秀教員表彰 3名

愛媛県優良教員表彰 5名

愛媛県教育選賞表彰 2名

(オ) 会員物故者

会員 35名(含現職会員 3名)

(カ) 不慮の災害による見舞い 1件

エ 福利厚生部会 24年11月9日

(4) 対策部

ア 教育研修会・・・8月30日(木曜日)

※市教研と共催で実施

講演「あかるく すなおに ひたむきに」

講師 NPO法人 レジェンド松山

理事 大野加寿子 氏

イ 対策部会 25年1月18日

# 平成25年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

## 1 活動方針

### (1) 組織の活性化

- ・支部活動の充実・強化及び地域ブロック活動の推進
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化
- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実強化

### (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化（「教育講座」の充実）
- ・会員相互の親和連携の推進（懇親会の計画運営）

### (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

## 2 事業計画

### (1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム25」11月9日（土曜日）

- ・開会式 開会式の中で、本会運営に貢献された役員の報賞を行う。
- ・公演 人形げきや おたこ組
- ・懇親会 報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。

### (2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設 8月8日と8月12日の2回
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力

- ・組織局（壮年・青年部）への研修補助
- ・日連教大会への参加（研修補助）
- ・会報「松山市教育会情報」の充実（年3回発行）

80号（6月1日発行）

81号（10月1日発行）

82号（2月1日発行）

- ・「文教月報」執筆協力

### (3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助

#### ア 囲碁・将棋教室の開催

委員会を立ち上げて検討

#### イ 俳句交換会 毎月

講師 上原 勲 先生

講師 近藤 良郷 先生

#### ウ ヨガ講座

月1回（第2土曜日午後）

講師 藤本ヨガ学院

（脇坂 恭子 先生）

#### エ 川柳教室 月1回（第3水曜日）

講師 関谷 省三 先生

- ・慶弔関係

#### ア 高齢慶祝者

傘寿（本年度中に満80歳になられる方） 39名

白寿（本年度中に満99歳になられる方） 0名

#### イ 物故者への弔慰（支部長と連携）

- ・情報の収集と提供

### (4) 対策活動

- ・「教育研修大会」の企画・運営（市教研と共催）

- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力

- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

- ・人材バンクの活用方法等について検討

## 平成25年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	田中 務	生石	O B	
副会長	久坂 文治	余土	O B	
副会長	友澤 大身	南中	市教研会長	
副会長	芳野 安隆	八坂小	小校長会長	新規
副会長	大塚 安彦	雄新中	中校長会長	新規

## OB

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1区理事	落合 常章	東雲	O B	
2区理事	友岡 宏次	素鷲	O B	
3区理事	山高 吉仁	垣生	O B	
4区理事	田中 勝	高浜	O B	
5区理事	窪田 博繼	みどり	O B	新規
6区理事	松田 邦雄	湯築	O B	
7区理事	川本 毅	荏原	O B	
8区理事	沖原 功夫	福音	O B	
9区理事	横田 勇三	北条	O B	

## 現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	千原 照明	河野小	市教研副会長	新規
理事	白濁 康隆	三津浜中	市教研副会長	
理事	渡邊 恵理	福音小	市教研副会長	
理事	山地 裕司	内宮中	研究部長	新規
理事	砂田 孝夫	味生第二小	文化部長	新規
理事	能瀬 克彦	北中	法制対策部長	新規
理事	道上 修二	双葉小	情宣部長	
理事	中尾 順子	垣生小	編集部長	
理事	徳永 敏久	東雲小	福利厚生部長	
専門部員	石田 年保	八坂小	壮年部代表男	新規
専門部員	越智 敦子	たちばな小	壮年部代表女	新規
専門部員	玉井 淳博	道後小	青年部代表	新規
専門部員	岩本 正昭	余土小	事務職員部代表	
専門部員	佐藤 敦子	立岩小	へき地部代表	新規
専門部員	平岡 洋子	久米小	養護教員部代表	新規
専門部員	二宮 聖子	堀江小	栄養職員部代表	
専門部員	渡部 光治	新玉小	小学校教頭会代表	新規
専門部員	小林 一郎	西中	中学校教頭会代表	

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
監事	垂水 葉子	湯山	O B	
監事	沖 幸治	湯築小	市教研監事	
事務局	龍田 純孝	愛媛文教会館内	市教研事務局	
	上松 和子			



# ふるさと松山学



**小学校 1年～3年**  
**子規の俳句と人生にふれよう**  
**小学校 4年～6年**  
**子規の俳句と人生に親しもう**  
**中学校**  
**子規の俳句と人生に学ぼう**

「この本は、松山に生きる私たちへのふるさと松山からの贈り物です。故郷に対する新しい発見や知識は、将来に向かって今を生きる希望や勇気を、私たちに与えてくれることと思います。」

これは、「ふるさと松山学」のあとがきに書かれた文章の一部です。松山の教員が中心となって執筆したこの冊子には、今を生きる子どもたちへの思いが込められています。内容も学年の発達段階に合わせています。俳句だけではなく、エピソードを交えながら、子規さんの生き方そのものにもふれています。

**小学校 1年～3年**  
 「まげのぼさんの小学校入学」  
 「みんなで声を合わせて」  
 「のぼさんの大失敗」  
 「泣きみそから大将に」など

**小学校 4年～6年**  
 「友情は永遠ぞな」  
 「子規庵に集う人々」  
 「松山はええよ」  
 「病床の風景」など

**中学校**  
 「俳句は文学の一部なり」  
 「文章には山がいるぞな」  
 「嬉しきも悲しきも」  
 「命を見つめて」など

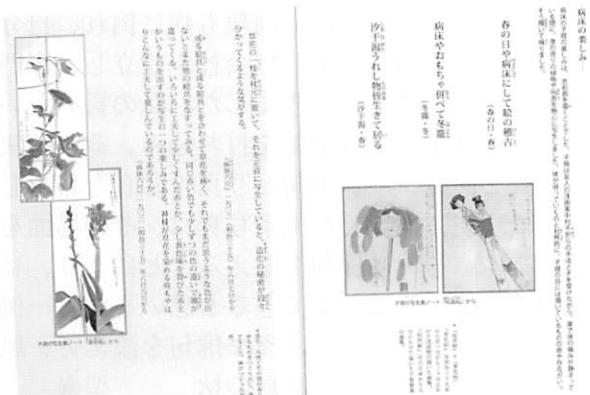
「財団法人子規庵保存会」「松山市子規記念博物館」「愛媛大学教育学部」「坂の上の雲ミュージアム」「松山市立中央図書館」「松山市教育研究所」に、編集協力をしていただいているため、掲載されている資料は、超一流のものばかりです。中には、貴重な幻の書「なじみ集」の一部も掲載されています。本物の資料にふれることにより、子どもの感性は磨かれていきます。

子どもたちへの贈り物をどのように活用しているのかを少し紹介します。正岡子規とのゆかりが深い番町小学校では4年生の総合的な学習の時間に、北条小学校では集会活動で、石田波郷を輩出した垣生中学校では国語の



時間というように、市内の小中学校では、様々な場で活用の仕方を工夫しています。三津浜中学校のように文化祭で劇化したところや、石井小学校や双葉小学校のように年間通して活用しているところもあります。(詳細は、「松山の教育」83号、84号に掲載)

この冊子は私たち教師にとっても大切な宝です。



文化講座紹介

—二十四年度会員の作品—

俳句

日曜のふらここ父子のシルエット

池田 本庄

柿の皮むいて長さを競い合ふ

江戸 昌宏

古城はるか今落日の春ゆうべ

大木 フク子

うすれゆく思い出たしかめ花に酌む

加藤 和子

花筵話はいつか遠き日に

小池 郁子

迎へ火やほどなく吾も来る側に

河野 博

たて板に水の饒舌山笑ふ

大院 静子

オーデイション歌って踊って風光る

田中 勝

花嫁の父の背中にある秋思

姫野 だるま

踏む音に心安らぐ落葉径

増元 晶尚

帰省子の積み上ぐ回転寿司の皿

松任谷 由実男

振り花素は篆刻家かもしれぬ

三好 靖子

川柳

流失の地にもどり立つ北の人

鍋田 早速

がちちりと稼ぎあつさり詐欺に遭う

柏井 正子

コック長の帽子は客の舌が斬る

仙波 弘子

真つすぐに生きて私の椅子がない

栗田 忠士

失恋も恋愛も混ぜ五七五

姫田 祐輔

目も耳も口も達者で嫌がられ

岡本 恭子

リーダーの視野はどんだん地球規模

上田 千鳥

記念日を気にする女せぬ男

上松 和子

未知にタックルIPSをさぐりあて

団上 一夫

青年の野心も錆びて老いに入る

江戸 昌宏

筆持つ手冪える米山酒の謎

川口 博子

雲行きに機転きかせて座をはずす

平松 照子

政治家へ顔より視野の広い人

丹下 友和

百歳のシワたそがれを見せぬ笑み

関谷 省三

ブロック紹介

懇親会を中心にしたブロック活動

第2ブロック理事 友岡 宏次

第2ブロックは新玉、雄郡、素鷲、桑原、たちばな、双葉の六つの小学校区と拓南、雄新、桑原、城西の四つの中学校区から成る地域です。ブロック活動はまずは気心を知り合うことが大切と懇親会を持つことに決まり、懇親会だけでは物足りないとい誰か一人に話をして貰うことになり、会の名は懇話会としました。そこで、1回目と2回目の二人の先生のお話を要約して紹介します。

<1回目> 失敗は成功のもと、成功は失敗のもと 栗林 弘一先生のお話

私は四十歳のとき、魔がさして、商品取り引きに誘われ、勧誘員に従い、一年後には多大の損失を被りました。その後、両親も病に倒れ、自分が頑張らねばと思ひ数億円の借金をして、建物を建て、自分は早期退職をして会社を設立し、専門の方に教えを乞い、自分で考えながら、最適な対応で借金を返すことができました。私の言いたいことは、自分の生き方でどうにもならなくなったときは、逃げずに全身全霊を打ち込み、その解決に当たることが大事だと思います。

<2回目> 俳句と写真の融合を目指して 矢野 聖寿先生のお話

私は現在、撮影した風景写真に、その場面を詠んだ俳句を添えた風景写真俳句の制作に取り組んでいます。写真に俳句を添えることにより、私が特にその中の何に感動して、写真を撮影したのかを明確に伝えることができます。一例として、斎灘を真赤に染めながら夕日が沈む情景を撮影した写真に、次のような俳句を添えて、風景写真俳句の作品を作成しました。

残照に映えし夕景瀬戸の秋 聖寿